【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第５区分
【発行日】令和5年3月2日(2023.3.2)

【公開番号】特開2021-143444(P2021-143444A)
【公開日】令和3年9月24日(2021.9.24)
【年通号数】公開・登録公報2021-045
【出願番号】特願2020-43516(P2020-43516)
【国際特許分類】
Ａ４１Ｇ　3/00(2006.01)
Ａ４１Ｇ　5/00(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ４１Ｇ　3/00　　Ｊ
Ａ４１Ｇ　5/00

【手続補正書】
【提出日】令和5年2月21日(2023.2.21)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
接着剤を用いて、地毛に対して人毛又は人工毛を接着する接着ステップと、
前記接着ステップの前に行われ、仮止め剤を用いて、前記地毛に対して前記人毛又は前記人工毛を仮止めする仮止めステップと、を備えることを特徴とする増毛方法。
【請求項２】
前記仮止めステップの前に行われ、前記地毛を起立させる起立ステップと、
を備えることを特徴とする請求項１記載の増毛方法。
【請求項３】
前記仮止めステップは、
前記地毛と前記人毛又は前記人工毛との少なくとも一方に対し前記仮止め剤を塗布する仮止め剤塗布ステップと、
前記仮止め剤塗布ステップの後に行われ、前記地毛と前記人毛又は前記人工毛とを接触させる接触ステップと、を備えることを特徴とする請求項１又は２記載の増毛方法。
【請求項４】
前記仮止め剤は、下記式１で表される成分を含むことを特徴とする請求項１ないし３のうちいずれか１項記載の増毛方法。
式１　　ＣＨ２＝Ｃ（ＣＮ）ＣＯＯＲ
（式中、Ｒはアルキル基、アルコキシアルキル基、シクロアルキル基、ハロアルキル基、アルケニル基、アルキニル基、アリールアルキル基及びアリール基から選択される）
【請求項５】
前記接着剤は、光硬化性を有するものであり、
前記接着ステップは、
前記地毛と前記人毛又は前記人工毛とに対し前記接着剤を塗布する接着剤塗布ステップと、
前記接着剤塗布ステップにより塗布された前記接着剤に対して光を当て、前記接着剤の硬化を行う接着剤硬化ステップと、
を備えることを特徴とする請求項１ないし４のうちいずれか１項記載の増毛方法。

【請求項６】
前記地毛のうち前記接着剤が塗布される被塗布部分部分よりも先端側に位置する先端側部分と定義した際、
前記接着ステップは、前記先端側部分に対して係合部材を係合させることにより起立状態となった前記被塗布部分に対して人毛又は人工毛を接着することを特徴とする請求項２項記載の増毛方法。
【請求項７】
ターゲットとなる前記地毛の周りに生えている周囲地毛を寝かす周囲地毛寝かせ部材を備え、
前記係合部材は、前記周囲地毛寝かせ部材の上部から上方へ向かって突出し、
前記周囲地毛寝かせ部材は、遮光性を有することを特徴とする請求項６記載の増毛作業支援冶具。